

(1) 単位互換事業

<概要>

単位互換事業は、大学コンソーシアム京都設立当初（1994年度）から先駆的に実施してきた基幹事業であり、現在も受講者数・提供科目数ともに全国一の規模を誇る。しかし、近年は「学士課程教育」が重視されるとともに、カリキュラムポリシーや学則に基づいた運用の厳格化が求められる傾向にあり、単位互換科目の履修を制限する大学もでてくるなど、近年は受講生数が減少傾向にある。

そのような状況の中、第4ステージプランでは、単位互換科目の多様化から「科目の特色化」を図ることが挙げられている。2014年度に、京都の地の利を生かした科目の新規開発を検討した結果、2015年度においては、京都にある世界遺産をフィールドに、課題解決型の授業を行う「京都世界遺産PBL科目」を新たに開設し、6か所の社寺・城と6大学による7科目を提供し実施した。

また、これら科目の運用実績や受講アンケートをもとに新たな科目開設の検討を行い、2016年度は、京都市立芸術大学（東寺）の科目を開講せず、京都文教大学（延暦寺）を新規に開講することとなった。

また、課題である「科目内容・到達度等に関する点検評価機能の構築」「単位互換科目の打ち出し（広報強化）」については、今後も引き続き検討を行う。

<実績>

◆2015年度単位互換出願状況について

協定 大学数	提供 科目数	出願者数						出願者合計	
		前期	履修 許可	追加	履修 許可	後期	履修 許可	通期	履修 許可
48校	589科目	3,274名	3,075名	71名	71名	270名	266名	3,615名	3,412名

◆2015年度「京都世界文化遺産PBL科目」出願状況について

科目開設大学	科目名	所属大学										計	備考
		科目開設 大学学生	京都学園 大学	京都工芸 繊維大学	京都女子 大学	京都ノートル ダム女子 大学	同志社大 学	同志社女 子大学	佛光大 学	立命館大 学	龍谷大 学		
京都産業大学	京都の世界遺産PBL～上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する～	7					2		1	2		12	
京都市立芸術大学	保存科学入門「東寺」絵巻を作る	4	1	1						1		7	
京都橘大学	遺産情報演習Ⅰ(b) ～世界遺産醍醐寺プロジェクト活動をパブリック化する試み～	6										6	
同志社大学	世界遺産PBL講座～O2Oマーケティングによる地域活性化	9						1	1	5	4	20	
立命館大学	特殊講義Ⅰ「京都有名寺社城の境内の見どころを巡るバリアフリー動線	11			1		1	1			4	18	
立命館大学	政策科学特別実習Ⅰ「京都の世界遺産 仁和寺」/PD	8				1	2					11	
龍谷大学※	コミュニティマネジメント特論：世界遺産と学ぶ課題発見・解決過程	6									5	11	※他学部受講は単位互換生として扱う
合計		51	1	1	1	1	5	2	2	8	13	85	

(2) 生涯学習事業（京カレッジ）

<概要>

生涯学習事業（京カレッジ）は、第4ステージプランにおいて、「提供科目の整理」や「他機関の生涯学習事業との連携による広報体制の確立」を課題としている。「京都学」など人気講座がある一方、出願が全くない科目の増加を受け、2014年度は単位互換事業と連携したテーマ別科目分類や市民教養講座の再編成、講座充実のための開設補助金の新設などを検討し、専門委員会（教育事業企画検討委員会）において承認を受けた。2015年度は前述の改編について加盟校に説明し、2016年度からの実施することとなった。

並行し、生涯学習事業の新たな展開を模索し、財団、加盟校及び京都市等の生涯学習事業関連部局間の連携を強化するため、2016年度より「生涯学習事業企画検討会議」を設置することが承認された。これにより、①生涯学習事業の大学間連携、②連携した広報体制の確立、③生涯学習イベントの実施、④新たな層への生涯学習機会の提供、⑤京カレッジ募集ガイドの生涯学習広報ツールへの活用等の実現可能性を検討していく。また、新規事業として2016年度より実施する「大学リレー講座」について8大学からの申請があり、2016年度5月～2月で実施する。

<実績>

◆2015年度京カレッジの出願状況について

科目提供 大学数	提供科目 数	出願科目 数	出願率	出願者数				合計	
				<実数>		<延べ数>		実数	延べ数
34大学 2機関	449科目	174科目	38.8%	前期	後期	前期	後期		
				809名	10名	1,921名	25名	819名	1,946名

◆2015年度京都学講座「京のまつりと賑わい」の受講状況について

回数	開講日	テーマ	講師	出席者	当日参加	合計
1	4月25日	葵祭	猪熊 兼勝	248名	11名	259名
2	5月9日	葵祭～平安王朝の雅	新木直人	223名	17名	240名
3	5月30日	戦国時代の祇園祭	河内 将芳	234名	11名	245名
4	6月6日	祇園祭の染織品	吉田 雅子	208名	6名	214名
5	6月27日	祇園祭と山鉾	川島 智生	225名	12名	237名
6	8月1日	京のお盆	村上 忠喜	197名	9名	206名
7	8月8日	愛宕信仰と火のまつり	鵜飼 均	201名	9名	210名
8	9月19日	ずいき祭	三枝 暁子	192名	7名	199名
9	10月3日	時代祭	猪熊 兼勝	203名	4名	207名
10	10月10日	鞍馬の火祭	福持 昌之	187名	4名	191名
11	10月24日	霜月の御火焚と大根焚	八木 透	178名	2名	180名
12	11月28日	おけらまいり	青江 智洋	190名	4名	194名
13	12月12日	師走から正月の祓えと悔過	八木 透	174名	2名	176名
14	1月16日	節分～春を招く行事と鬼	橋本 章	199名	5名	204名
実地	7月21日	祇園祭と懐石料理	中村楼	33名	—	33名
実地	12月9日	大根焚	了徳寺	33名	—	33名

(3) 施設管理事業（指定管理）

<概要>

施設管理事業は、京都市から指定管理者として 2015 年度から 4 年間の再指定を受け、キャンパスプラザ京都の管理運営を行うこととなった。引き続き、施設運営に必要な委託業者（受付、警備、清掃、各種インフラ管理等）と連携を図りながら適切な施設管理を行っていく。また、施設の設備については、開館から 15 年を迎えることもあり、経年劣化に伴う改修工事が必要となることが十分に予想されるため、京都市と連携して年次計画を策定（施設利用料の値上げの検討も含む）するなど、長期的な施設の改修・保全を図る。

また、京都市予算により、2016 年度におけるガスヒートポンプ設備（GHP）の大規模修理が確定となり、京都市との工事計画の調整を引き続き行う。

各種委員会等の開催について

■開催報告■

(1) 単位互換事業・生涯学習事業（京カレッジ）

① 教育事業企画検討委員会

6 月 24 日（水） 第 1 回（主要議題：2016 年度以降の単位互換事業・生涯学習事業の展開について）

11 月 4 日（水） 第 2 回（主要議題：2016 年度単位互換事業・生涯学習事業の展開について）

(2) 生涯学習事業（京カレッジ）

①京カレッジ企画検討会議

10 月 28 日（水） 第 1 回（主要議題：京カレッジ市民教養講座開設補助費の採択について）

*本検討会議は 2016 年度より「生涯学習事業企画検討会議」に改組（11/4 第 2 回教育事業企画検討委員会にて承認）。

②京都学企画検討委員会

7 月 8 日（水） 第 1 回（主要議題：2016 年度京都学講座のテーマについて）

8 月 5 日（水） 第 2 回（主要議題：2016 年度京都学講座のテーマについて）

10 月 6 日（火） 第 3 回（主要議題：2016 年度京都学講座のテーマについて）

12 月 15 日（火） 第 4 回（主要議題：2016 年度京都学講座のテーマについて）

③生涯学習事業大学間連携推進ワーキンググループ

6 月 11 日（木） 第 1 回（主要議題：生涯学習事業における大学間連携について）

高大連携・インターンシップ事業部

(1) 京都高大連携研究協議会事業

<概要>

京都高大連携研究協議会は、京都の「産・官・学（高校・大学）」が一堂に会し、「個別高校・大学間の『個と個の連携』ではなく、組織と組織による『面と面での連携』によって高大連携を実現して達成する」ことを目的とし、京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府私立中学高等学校連合会・京都商工会議所・大学コンソーシアム京都が構成団体となり、2003年5月に発足した。発足以来、京都独自の高大連携について様々な角度から研究・開発に取り組むために様々な事業の展開を行っている。なお、本事業については大学コンソーシアム京都が主催する事業ではなく、「京都高大連携研究協議会事業」として京都高大連携研究協議会の会議体において企画内容の検討・実施の是非が決定される。

2013年度までは京都の大学「学び」フォーラムに関する事業は「高大接続事業」として実施をしていたが、2014年度は京都高大連携研究協議会主催の京都会場のみ実施されるため京都高大連携研究協議会事業として、「キャリア教育」に重点を置いて実施した。

2015年度は、「高大連携教育フォーラム」「京都の大学『学び』フォーラム」を更に改善し高度化していくとともに、全事業の推進にあたり「面と面との連携」を更に強化していく必要がある。また、2012年度より取り組みを始めた「キャリア教育企画」についてもその効果を検証し、継続して内容の改善ならびに新たな企画の策定を進める必要がある。

◆高大連携教育フォーラム

- ・高校・大学間の連携・接続教育問題における「国内動向の情報共有・事例研究と京都における取り組みの情報発信」を目的として実施。
- ・2015年度（第13回高大連携教育フォーラム）の企画内容の概要は、6月に開催した第1回高大連携推進室会議ならびに第1回運営委員会において審議された。

日程	2015年12月4日（金）9時30分～17時15分／情報交換会 18時15分～20時15分	
会場	キャンパスプラザ京都（情報交換会：メルパルク京都）	
主催	京都高大連携研究協議会（京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所、公益財団法人大学コンソーシアム京都）	
テーマ	アクティブ・ラーニングへの模索～「教える」と「学ぶ」とのリンクを考える～	
構成	◆第1部（趣旨説明・特別講演・実践事例紹介・ディスカッション）	
	総合司会 山本以和子（大学コンソーシアム京都高大連携推進室 コーディネーター ／京都工芸繊維大学教育研究基盤機構系 准教授）	
	09:30～09:35	開会挨拶 北村 聡（京都高大連携研究協議会運営委員会 委員長／京都外大西高等学校 校長）
	09:35～09:45	趣旨説明 椋本 洋（大学コンソーシアム京都 高大連携推進室 アドバイザー ／立命館大学 産業社会学部 講師）
09:45～10:35	特別講演 「教える」から「学ぶ」への転換—高大接続教育における ICE モデルを活用したアクティブ・ラーニングの実践と評価— 土持ゲーリー法一（帝京大学高等教育開発センター長）	

	10:45～11:45	実践事例紹介（高等学校） 誰も教えてくれないアクティブ・ラーニング導入の課題～嵯峨野・堀川の暗中模索～ 京都府立嵯峨野高等学校 神脇 順子（教諭） 小林 孝由（教諭） 京都市立堀川高等学校 飯澤 功（教諭） 橋本 麻衣（講師）
	11:45～12:15	実践事例紹介（大学） 生徒・学生の「学びの同伴者」としての教員の役割 筒井 洋一（京都精華大学 人文学部 教授）
	13:15～14:45	ディスカッション ・コーディネーター 内村 浩（大学コンソーシアム京都高大連携推進室長 ／京都工芸繊維大学 教育研究基盤機構系 教授） ・登壇者 京都府立洛東高等学校 西村 昌能（教諭） 京都市立日吉ヶ丘高等学校 片山雄一郎（教諭） 京都府立嵯峨野高等学校 小林 孝由（教諭） 京都市立堀川高等学校 橋本 麻衣（講師） ・コメンテーター 土持ゲーリー法一（帝京大学高等教育開発センター長） 筒井 洋一（京都精華大学 人文学部 教授）
◆第2部（分科会）		
	15:15～17:15	第1分科会【表現技法】 アクティブ・ラーニングの評価方法-学習者による自己評価システムの提案-
		第2分科会【数学】 アクティブ・ラーニング（主体的・協働的な学び）の推進-京都数学グランプリ-
		第3分科会【英語】 ディベート活動の取り組みを通して培う英語コミュニケーション力と思考力
		第4分科会【理科】 未来の科学者を育てるシンクロトン放射光を使った高校生実習 ～高大連携の中で生徒の自主性を重視した発表活動～
参加費	京都府内の高等学校・大学関係者：1,000円、左記以外：2,000円	
参加者数	300名	

情報交換会	18:15～20:15	会場：メルパルク京都 7F オリオン（参加費 5,000円）
-------	-------------	--------------------------------

◆実践研究共同教育プログラム

- ・高校教員と大学教員が共同で授業プログラムを開発し、高校の正課授業の中で継続して実践する取り組み。生徒には大学での「学び」に触れる機会、高校・大学教員には教授法の共有やそれぞれの現状を把握する機会となっている。2014年度から高大連携プログラムの再検討期間と位置づけ、新規校の募集は実施しておらず、今年度が実施最終年度となる。2015年度実施校は以下のとおり。

○京都府立鴨沂高等学校（実施3年目） テーマ：主体学習を目指した高大接続教育の確立

11月13日（金）	「日本史」実施日 13:15～14:05、14:15～15:05（両日）
11月20日（金）	対象者：2学年1クラス 42名
1月29日（金）	「物理」実施日 13:15～14:05、14:15～15:05
	対象者：2学年1クラス 36名

◆Kyoto カタリ場

2015 年度実施スケジュール

高校名		対象		参加	実施スケジュール		
京都府立	須知高校	2 年生	79 名	72 名	9 月 30 日 (水)	13:40~15:30	2 年目
京都府立	鴨沂高校	2 年生	197 名	196 名	10 月 24 日 (土)	9:00~11:00	新規
京都府立	北桑田高校	1 年生	75 名	71 名	11 月 4 日 (水)	13:30~15:20	新規
京都府立	洛東高校	1 年生	280 名	275 名	11 月 20 日 (金)	13:15~15:05	新規
京都府立	網野高校	1 年生	150 名	142 名	1 月 27 日 (水)	13:30~15:20	2 年目

◆京都府北部地域対象キャリア教育企画「高校生の学びプランニング ～学ぶ・閃く・つながる～」

- ・2014 年度に引き続き、地域の社会人とも連携し「まるっとーく in〇〇」として企画内容を充実させた。
- ・企画内容は「大学生と高校生の交流企画」を柱とし、高校側のニーズも踏まえて内容の詳細を検討した。
- ・京都府教育委員会を通じて北部地域の高校へ周知を依頼、私立高校については個別にニーズ調査を行った。

2 月 10 日 (水) ~ 2 月 11 日 (祝・木)	まるっとーく in 久美浜 参加者数：高校生 22 人 大学生 15 人 地域社会人 8 人
3 月 11 日 (金) ~ 3 月 12 日 (土)	まるっとーく in 大江 参加者数：高校生 13 人 大学生 10 人 地域社会人 8 人

◆女子生徒・女子大学生対象キャリア教育企画

- ・女性社会人（ゲストスピーカー）とのグループワーク・ディスカッションを通じて、自身のキャリア形成と次世代の職業人としての意識向上を図る。
- ・2015 年度については企画趣旨や社会人ゲストの情報など分かりやすく伝わるよう、実施方法や広報等の改善を行った。

日 程	2016 年 2 月 20 日 (土) 13 時 30 分~16 時
会 場	キャンパスプラザ京都 2 階ホール
主 催	京都高大連携研究協議会
コーディネーター	山本以和子氏（京都工芸繊維大学教育研究基盤機構系准教授/ 高大連携推進室コーディネーター）
講 師	市原陽子氏（公益財団法人京都市男女共同参画推進協会） 栗山和子氏（オムロンヘルスケア(株)国内営業本部マーケティング部オムロン式美人課課長） 中村典子氏（(株)ロマンライフ経営サポート部ワーク・ライフ・バランス推進プロジェクトリーダー）
参加者	高校生 12 名（2 年生 11 名、3 年生 1 名） 洛北高等学校、京都堀川音楽高校、伏見工業高等学校、紫野高等学校、ノートルダム女学院中学高等学校 大学生 12 名（1 年生 1 名、2 年生 5 名、3 年生 4 名、4 年生 2 名） 京都大学、京都光華女子大学、京都華頂大学、龍谷大学、立命館大学、同志社大学、京都ノートルダム女子大学

◆京都の大学「学び」フォーラム

- ・京都府内を中心とした高校1・2年生ならびに保護者を主な対象とし、加盟大学・短期大学による模擬講義・体験型講座、大学生との交流企画、その他の企画等を通じて、大学での「学び」の魅力を伝え、高校生の学習意欲の喚起・進学意識の向上を目指してきたが、第4ステージプランに基づき、その在り方について京都高大連携研究協議会において再検討し、2016年度以降の中止を決定した。

日 程	2015年10月25日（日） 9：30～15：30
会 場	立命館大学 衣笠キャンパス 敬学館・清心館
主 催	京都高大連携研究協議会（京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所、公益財団法人大学コンソーシアム京都）
協 賛	大学生協京都事業連合、(株)フラットエージェンシー、(株)共立メンテナンス 公益財団法人日本英語検定協会
後 援	文部科学省、全国高等学校進路指導協議会、日本私立中学高等学校連合会、 公益財団法人日本進路指導協会、京都府、京都市、兵庫県教育委員会、 奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、滋賀県教育委員会、大阪市教育委員会、 大阪私立中学校高等学校連合会、滋賀県私立中学高等学校連合会
参加大学数	29 大学
参加者数	1,903名（内訳：高校生1,508名 / 保護者・教員365名 / その他30名） *送迎バス利用含む（京都府北部地域の高校向け送迎バスでの参加者数：555名）
企画内容	模擬講義（29講義）、体験型講座（15講座）、保護者・高校教員向け講座（3講座）、 文章表現UP講座、数学講座、大学生企画（2）、大学別相談ブース、キャンパスラ イフ紹介・相談コーナー

（2）インターンシップ事業

<概要>

財団が実施するインターンシップ・プログラムは、実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」、「高い職業意識の育成」、「自主性・独創性のある人材育成」を目的とした教育プログラムである。

2015年度は、質的充実のため、講義内容も含めたプログラム全体の見直し・改善について、インターンシップ事業企画検討委員会を中心に進めた。

ビジネス・パブリックコースでは、事前・事後学習プログラムの内容充実、各大学から委嘱されるコーディネーターの安定的確保が懸案事項である。受入れ先や学生からの要望が多い、他クラスとの交流を深められる講義を新たに取り入れた。

プログレスコースでは、受入れ先企業・団体の質、数の確保のため、受入れ先やコーディネーターの判断により受入れ先企業での講義や日時の調整も可能とする等、受入れ先の負担軽減を図った。

全コース共通課題として、新任を含めたコーディネーター相互の連携強化、事務処理の正確性向上、迅速化を目的に、採用活動時期の変更等社会情勢を踏まえつつ、受入れ先エントリーシステムの改善及び学生出願受付システムの再構築を引き続き検討していく。

◆ビジネス・パブリックコース／プログレスコース（共通）

- ・加盟大学への出向ガイダンス ※【 】内は参加者

京都女子大学 2014年12月17日（水）【150名】、2015年4月11日（土）【60名】

花園大学 2015年3月26日（木）※午前【80名】・午後【80】

同志社大学 京田辺キャンパス 2015年3月26日（木）

今出川キャンパス 2015年3月27日（金）【300】

成安造形大学 2015年3月27日（金）【127名】

龍谷大学 大宮キャンパス 2015年4月3日（金）【100】

深草キャンパス 2015年4月6日（月）【600】・4月8日（水）【400】

瀬田キャンパス 2015年4月6日（月）【300】・4月8日（水）【150】

京都学園大学 太秦キャンパス 2015年4月6日（月）【8】

亀岡キャンパス 2015年4月8日（水）【80】

京都産業大学 2015年4月8日（水）【30】

京都教育大学 2015年4月13日（月）【15】

京都府立大学 2015年4月14日（火）【30】

京都ノートルダム女子大学 2015年4月15日（水）【100】

京都光華女子大学・短期大学部 2015年4月17日（金）【50】

同志社女子大学 京田辺キャンパス 2015年4月21日（火）【40】

今出川キャンパス 2015年4月22日（水）【40】

- ・インターンシップ・プログラム事前説明会（学生対象）

2015年4月11日（土）18:00～19:30 於：キャンパスプラザ京都 第1講義室

参加者数 270名

- ・学生Webエントリー受付

2015年4月24日（金）9:00～5月7日（木）17:00

- ・学生出願受付・面接

2015年5月8日（金）16:00～18:30、5月9日（土）10:00～15:00 於：キャンパスプラザ京都 5階

◆ビジネス・パブリックコース

- ・2015年度受入れ先企業・団体エントリー数

ビジネスコース 166 パブリックコース 51

（2014年度実績 ビジネスコース 179 パブリックコース 57）

- ・受入れ先担当者説明会

2015年4月15日（水）16:00～17:30 於：キャンパスプラザ京都 第4講義室

参加者数 受入れ先企業・団体担当者45名、コーディネーター4名

2014年度の実施概要報告

・受入れ状況

2015 年度実績	【受入先】登録 217 団体	172 受入	【学生】542 名出願	343 名実習許可
2014 年度実績	【受入先】登録 236 団体	189 受入	【学生】555 名出願	370 名実習許可

◆プログレスコース

・プログレスコース説明会・相談会（学生対象）

4 月 16 日（木）18:15～21:00 於：キャンパスプラザ京都 2 階ホール

参加者数 大学生 80 名、受入れ先企業・団体担当者 14 名、コーディネーター 7 名

・受入れ状況

2015 年度実績	【受入先】登録 14 団体	9 受入	【学生】49 名出願	(45 名実習許可)
2014 年度実績	【受入先】登録 11 団体	9 受入	【学生】66 名出願	(65 名実習許可)

各種委員会等の開催について

■開催報告■

（1）京都高大連携研究協議会事業

以下の①②の会議は、大学コンソーシアム京都に設置された専門委員会とは異なり、京都高大連携研究協議会に設置された委員会である。

① 京都高大連携研究協議会 役員会

6 月 5 日（金） 第 1 回（主要議題：会長・副会長選任、規格改正について 他）※書面会議

3 月 22 日（火） 第 2 回（主要議題：京都高大連携研究協議会 事業計画（案）について）※書面会議

② 京都高大連携研究協議会 運営委員会

6 月 18 日（木） 第 1 回（主要議題：委員長選任、昨年度事業報告、事業計画について 他）

11 月 13 日（金） 第 2 回（主要議題：事業開催報告、企画内容審議、次年度事業方向性について 他）

3 月 18 日（金） 第 3 回（主要議題：2015 年度事業報告、2016 年度事業計画 他）

③ 高大連携推進室 室員会議

6 月 24 日（水） 第 1 回（主要議題：第 13 回高大連携教育フォーラム企画内容について 他）

11 月 27 日（金） 第 2 回（主要議題：第 13 回高大連携教育フォーラム進捗報告について 他）

2 月 23 日（火） 第 3 回（主要議題：第 14 回高大連携教育フォーラム企画内容検討について 他）

④ 高大連携プログラム検討ワーキンググループ

5 月 12 日（火） 第 1 回（第 13 回高大連携教育フォーラムのプログラム構成について）

10 月 2 日（金） 第 2 回（次年度以降の事業の方向性について等）

⑤ 京都の大学「学び」フォーラム企画検討委員会

5月9日（土） 第1回：書面会議にて開催

（主要議題：京都の大学「学び」フォーラム2015の企画概要について他）

2月12日（金） 第2回（主要議題：京都の大学「学び」フォーラム2015の実施報告、2016年度開催中止について他）

（2）インターンシップ事業

① インターンシップ事業企画検討委員会（2015年度よりインターンシップ事業研究会から名称変更）

6月19日（金） 第1回（主要議題：2015年度 事業の目的の明確化・具体化について他）

10月23日（金） 第2回（主要議題：2016年度講義計画（シラバス）について他）

11月27日（金） 第3回（主要議題：2016年度講義計画・スケジュールについて他）

12月18日（金） 第4回（主要議題：2015年度プログラムの振り返りについて他）

2月26日（金） 第5回（主要議題：2016年度 事業運営について他）

② インターンシップ・プログラム コーディネーター会議（ビジネス・パブリック）

4月15日（水） 第1回（主要議題：2015年度インターンシップ・プログラム事業推進体制について他）

6月13日（土） 第2回（主要議題：事前学習の進め方について 他）

6月27日（土） 第3回（主要議題：事前学習実施に関わる連絡事項について 他）

7月4日（土） 第4回（主要議題：実習・中間指導について 他）

9月26日（土） 第5回（主要議題：実習状況の報告について 他）

10月30日（金） 第6回（主要議題：2016年度講義計画（シラバス）の決定について 他）

③ インターンシップ・プログラム コーディネーター会議（プロGRESS）

4月16日（木） 第1回（主要議題：2015年度プログラム概要・実施スケジュールについて 他）

6月11日（木） 第2回（主要議題：2015年度プログラムの進め方について 他）

6月25日（木） 第3回（主要議題：プロジェクト毎の内容確認について 他）

10月1日（木） 第4回（主要議題：夏期休暇中の進捗状況について 他）

12月1日（火） 第5回（主要議題：2016年度講義計画（シラバス）について 他）

(1) FD事業

<概要>

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組として、大学コンソーシアム京都では設立間もない1995年より加盟大学と共に京都地域におけるFD活動を推進している。

2014年度より委員会体制を一部見直し、「FDフォーラム企画検討」「FD企画研究」の2委員会体制を維持しながら、2015年度からは、「企画研究委員会」のもとに2つのチーム（マクロチーム、ミクロチーム）を設置し、少人数で機動的に検討できるよう改めた。概ね効果を発揮しているが、会議の回数増加に伴う運営上の負担を生んでいる面も否めない。そのため、テーマ別検討のメリットを活かしつつ、運営簡素化や会議回数の削減などを行い、より安定的な運営に向けた工夫を図っていく。

<実績>

◆京都FD執行部塾

加盟校の学長や副学長また部長レベルの各大学執行部層を対象とする研修プログラムである。

テーマ：「Waseda Vision 150による大学教育改革への挑戦」

日時：2015年6月20日（土）

場所：キャンパスプラザ京都 2階 第1会議室

講師：大野 高裕氏（早稲田大学）

参加者数：31名

◆京都FDer塾 シンポジウム

大学コンソーシアム京都の加盟校においてFD活動のリーダーとなる教職員を養成するため、各大学・短期大学のFD委員会メンバーやFD事務担当者である教職員を主な対象としたシンポジウムを実施した。

テーマ：大学での『学びの第一歩』をどうデザインするか？

～継続的な学びをモチベートする仕掛けを考える～

日時：2016年1月23日（土）13:00～17:00

場所：キャンパスプラザ京都

基調講演：塩瀬 隆之 氏（京都大学総合博物館 准教授／前 経済産業省産業技術政策課 課長補佐）

「学生を黙らせる問いと考えを深めたいくなる問い」

事例紹介：中山 博喜 氏（京都造形芸術大学創造学習センター 准教授）

「マンデイ・プロジェクト+ロールモデル研究」

喜多 一 氏（京都大学国際高等教育院 副教育院長／教授）

「ポケット・ゼミ」

廣内 大輔 氏（岐阜大学教育推進・学生支援機構学修支援部門 准教授）

「学びをデザインする」

パネルディスカッション

コーディネーター：有本 収氏（京都薬科大学 教授）

◆大学教育パワーアップセミナー

FDer 塾で実施していた小規模ワークショップ形式の研修を独立させたものである。教員個人の教授法や授業方法などスキルの強化を図ったり、広く教員が直面する悩みや課題を扱うワークショップ。コンセプトは気軽に集まってワイワイ学ぶサロン型勉強会である。

第1回：イマドキの高校の「学び」の形～学生たちが体験してきたアクティブラーニング型授業とは～

日時：2015年11月20日（金）18：00～20：00

場所：池坊短期大学

講師：井尻 達也 氏（京都市立堀川高等学校 教諭）

参加者数：14名

第2回：アクティブ・ラーニング型授業と講義型授業の違い～大学におけるオープンな学びから～

日程：2015年12月11日（金）18：00～20：00

場所：池坊短期大学

講師：筒井 洋一 氏（京都精華大学 教授）

参加者数：15名

◆新任教員FD合同研修

国立教育政策研究所が提唱する「新任教員研修」の枠組みに準拠した新任教員向け研修プログラムを9月（プログラムA）・3月（プログラムB）に実施している。A,B両方のプログラムを修了した場合、修了認定証を発行している。

《プログラムA》参加者数：29名／参加証発行者数：13名／修了証発行者数：1名

1日目＜9月5日（土）＞13:00～18:00

1	FD・大学教員のキャリア開発	耳野 健二 氏（京都産業大学 教授）
2	学習者中心の授業運営のための基礎知識・ワークショップ	森 朋子 氏（関西大学 准教授）

2日目＜9月6日（日）＞10:00～17:00

1	授業デザインのための基礎知識・ワークショップ	安岡 高志 氏（立命館大学 教授）
2	学習支援・特別支援のための基礎知識・ワークショップ	村田 淳 氏（京都大学 障害学生支援ルーム 助教）

《プログラムB》 参加者数：12名／参加証発行者数：9名／修了証発行者数：4名

1日目＜3月12日（土）＞13:00～18:00

1	京都の大学・大学のまち京都	栗田 洋（大学コンソーシアム京都 副事務局長）
2	成績評価のためのワークショップ	圓月 勝博 氏（同志社大学 文学部 教授）

2日目＜3月13日（日）＞10:00～17:00

1	授業設計のためのワークショップ	沖 裕貴 氏（立命館大学 教育・学修支援センター センター長／教授）
2	授業実践ワークショップ	

◆第21回FDフォーラム

2015年度は、テーマを「大学教育を再考する～イマドキから見えるカタチ～」として実施した。ポスターセッションや分科会の双方向的な運営などによる相互交流や情報発信については、前年度より引き続き重視して実施した。

◇シンポジウム

日時：2016年3月5日（土）13：00～17：10

場所：京都外国語大学 森田記念講堂

シンポジスト：山本 繁氏（NPO 法人 NEWVERY 理事長/日本中退予防研究所 所長）

杉岡 秀紀氏（京都府立大学 地域連携センター副センター長/公共政策学部 講師）

池田 輝政氏（追手門学院大学 学長補佐/アサーティブ研究センター長/
基盤教育機構 教授）

大島 英穂氏（立命館大学 国際部 事務部長）

コーディネーター：山田 剛史氏（京都大学 高等教育研究開発推進センター 准教授）

参加者数：707名（申込者数 750名）

◇情報交換会

日時：2016年3月5日（土）17：30～19：00

場所：京都外国語大学 12号館リブレ

参加者数：246名

◇分科会

日時：2016年3月6日（日）10：00～15：30

場所：京都外国語大学 1号館

参加者数：756名（申込者数 803名）

	テーマ	申込	参加
1	地域貢献アウトキャンパス活動がもたらす学生の成長：その現状と可能性について	103	97
2	持続可能な初年次教育のあり方をさぐる	120	115
3	学ぶきっかけをつかめない学生にどう向き合うか？～教養教育の挑戦～	120	116
4	高大接続改革の動向から紐解く学生理解～「接続」の意味するもの～	120	112
5	大学における英語・日本語リメディアル教育	40	38
6	小規模大学が地域で生きるアクティブ・ラーニング	40	38
7	大学改革とFD～批判と提言～	40	38
8	「教育から学習へ」のパラダイム・チェンジとFD～<Unlearning>を焦点に～	40	38
9	授業の場における「ことば」の交換～対話的コミュニケーションと学生の主体性～	40	38
10	大学におけるライティングセンターの役割	40	35
11	障がい学生への大学図書館支援	20	20
12	教職員が直面している大学のいま～悩みの共有と解決～	41	37
13	学外特設キャンパスでの学び～地域連携と教育効果～	39	34

◆高等教育情報NAVI「教まちや」

高等教育イベントNAVI「教まちや」(以下、教まちや)は、加盟校をはじめとする教育機関が高等教育に関するイベント情報を収集する際のハブ機能を担うツールとして開発され、2014年度より稼働した。機能としては、(1)イベントの投稿・掲載、(2)教まちや News (ブログ機能)、(3)メールマガジンの3つのコンテンツがある。2015年度は、教まちや News の更新などを中心に運営を行った。

(2) SD事業

<概要>

大学を取り巻く環境が急激に変化している状況において、大学の管理運営のあり方が重要な位置を占めるようになり、大学職員の担う役割は非常に大きなものとなっている。そのような環境に適応するべく、大学職員を対象とした管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための様々な事業を展開している。

<実績>

◆大学職員共同研修

社会人としての基礎知識から大学職員としての汎用的なスキルを修得できる場として提供し、職務遂行能力向上に寄与する。2013年度にプログラムの見直しを行い、2014年度以降4ヵ年17プログラムの計画を策定し、2015年度は当該計画の2年目である。適切な運営事業者とのマッチングによる質の向上に努め、シラバスの体系的な提示により、受講者に、研修の狙いや獲得目標を一層わかりやすく伝える工夫を図った。

<ビジネスマナー研修(基礎編)>

日程：2015年3月20日(金)、25日(水)、26日(木)、6月5日(金) 9:45~17:15

場所：キャンパスプラザ京都

参加者数：42名

<カウンセリングマインド>

日程：2015年8月6日(木) 9:45~17:15

場所：キャンパスプラザ京都

参加者数：11名

<自己メンタルヘルス術>

日程：2015年9月4日(金) 9:45~17:15

場所：キャンパスプラザ京都

参加者数：12名

<プレゼンテーション>

日程：2015年9月8日(火) 9:45~17:15

場所：キャンパスプラザ京都

参加者数：13名

<コーチング>

日程：2015年9月10日（木）9：45～17：15

場所：キャンパスプラザ京都

参加者数：12名

◆SDワークショップ

実際の現場で働く職員の日常の課題や問題意識を共有する場として提供し、加盟校職員の日常業務の改善に寄与する。2015年度は後期（11月～12月）に3回、定員は20名で、土曜の午後を実施した。

<第1回 高等教育政策の動向 ～人口減少とグローバル化に適応するための大学改革～>

日程：2015年11月28日（土）13：00～17：00

場所：キャンパスプラザ京都

講師：遠藤 翼 氏（文部科学省 高等教育局 大学振興課 課長補佐）

参加者数：15名

<第2回 メンタリング・ファシリテーティングの基本と体験トレーニング>

日程：2015年12月5日（土）

場所：キャンパスプラザ京都

講師：渡邊 億徳 氏（同志社大学 総務部 人事企画課 係長）

鈴木 陵 氏（京都産業大学 共通教育推進機構 コーオプ教育研究開発センター F工房）

参加者数：8名

<第3回 大学組織の特性を考えるー『転職組』大学職員の経験とキャリアデザインー>

日程：2015年12月12日（土）

場所：キャンパスプラザ京都

講師：福岡 正蔵 氏（京都精華大学 キャリアデザインセンター センター長）

参加者数：14名

◆第13回SDフォーラム

高等教育の動向を踏まえた先進事例紹介や外部有識者の知識やノウハウを獲得する場として提供し、新たな知見修得や人的ネットワークの構築に寄与することを目的に開催。各大学や他組織における類似企画の増加を踏まえ、内容・運営面でより魅力的なものとなるよう、アンケート等からニーズを分析しているが、今後は、参加申込みの漸減傾向やワークショップ形式による企画の希望増加を踏まえ、フォーラムの適正規模についても再検討を必要とする。

日程：2015年10月18（日）10：00～17：15

場所：キャンパスプラザ京都

全体テーマ：多様な繋がりを育む大学職員

第1部 基調講演 10：00～12：00

テーマ：わかりあえないことから

講師：平田 オリザ氏（東京藝術大学 COI 研究推進機構 特任教授）

参加者数：143名

第2部 分科会（全6分科会）13：00～16：00

	テーマ	講師	申込数	参加数
A	自立した学生を育成するために職員はどう関わるべきか！？ ～学生FDサミット2015夏in追手門学院大学における学生との協働～	岸岡 奈津子 氏 (追手門学院大学 教育開発支援機構 講師)	30	24
B	企業と大学 多様な「連携」をめざして	石川 武 氏 (三共精機株式会社 代表取締役社長)	15	14
C	地域との協働で大切な「3つ」のポイント ～COC採択校の事例より～	押領司 哲也 氏 (京都文教大学 フィールドリサーチオフィス 課長)	22	20
D	多様な学生と向き合う学内連携を考える～障害学生支援の理解とこれからの見据えて～	村田 淳 氏 (京都大学 学生総合支援センター 障害学生支援ルーム チーフコーディネーター・助教)	30	30
E	地域の宝を探し出せ！	岸川 政之 氏 (百五銀行 営業渉外部 顧問/皇學館大學 現代日本社会学部 特命教授)	12	13
F	アクティブラーニング型教育方法導入に伴う職員の役割拡大化の中で ～職員による学生同士の関係性構築に重点をおいた提案・支援活動 授業催事支援、学生ファシリテーター育成を担う職員と、教員の協働について実践報告～	大谷 麻予 氏 (京都産業大学 共通教育推進機構 コーオプ教育研究開発センター F工房 担当コーディネーター)	30	30

第3部 情報交換会 16：15～17：15

◆SDゼミナール

第4ステージプランにおいて、休止中の「大学アドミニストレータ研修」再開にむけた検討の必要性が示されたことを受け、2014年度にプログラムを再開発した。2015年より、「SDゼミナール」として、計7回の講座と公開プレゼンテーションを柱とした企画を実施した。

開講日時		テーマ	講師
6月13日(土)	第1回	大学内外での学びと実践 人と出会い、学び合うことによって、新たな自分に気づく	山崎 その氏 (京都外国語大学 総合企画室 参事)
6月20日(土)	第2回	大学の歴史と制度 大学の歴史的展開と大学改革の動向	江原 武一氏 (京都大学 名誉教授)
6月27日(土)	第3回	学生と大学教育 学生の学びの実態とは—高校教育との接続から考える—	椋本 洋氏 (立命館大学 講師)
7月4日(土)	第4回	大学職員と“こころ” 臨済宗妙心寺派大本山 妙心寺での実践研修	法話長島 宗深師 坐禅堀田 泰邦師
7月11日(土)	第5回	大学組織の活性化 内発的モチベーションを考える	藤本 哲史氏 (同志社大学大学院 教授)
7月18日(土)	第6回-1	大学と社会 地域連携の意味と大学の役割	深尾 昌峰氏 (龍谷大学 准教授)
7月18日(土)	第6回-2	アカデミック・プレゼンテーション プレゼンテーションの「スキル・ツール・マインド」	村山 孝道氏 (京都文教大学 教務課長)
7月25日(土)	第7回-1	大学の戦略とリーダーシップ 戦略を創出する組織づくり	吉武 博通氏 (筑波大学ビジネスサイエンス系 教授)
7月25日(土)	第7回-2	アカデミック・ライティング 事実に基づき、論理的に説明する能力を身につける	
9月12日(土)	受講生公開プレゼンテーション		
10月31日(土)	修了レポート提出締切		

場所：キャンパスプラザ京都（第4回のみ臨済宗妙心寺派大本山妙心寺にて実施）

受講生数：25名

◆「大学職員向け研修」説明会兼担当者交流会

加盟大学人事・研修担当者を対象にSD事業プログラム改善に向けた加盟校の研修ニーズを把握し、加盟校間の人的ネットワーク構築を目的に実施した。

日程：2016年2月26日(金) 15:00~16:30

場所：キャンパスプラザ京都

参加者数：14名（加盟校7名、SD研修委員3名、在職員4名）

◆その他

- ・隔年で作成している「SDガイドブック2015」を発行した。
(電子ブックとして、当財団のホームページに掲載)

各種委員会等の開催について

■開催報告■

(1) FD事業

① FDフォーラム企画検討委員会

- 6月25日(木) 第1回FDフォーラム企画検討委員会
- 7月31日(金) 第2回FDフォーラム企画検討委員会
- 9月24日(木) 第3回FDフォーラム企画検討委員会
- 11月4日(水) 第4回FDフォーラム企画検討委員会
- 2月4日(木) 第5回FDフォーラム企画検討委員会
- 3月23日(水) 第6回FDフォーラム企画検討委員会

② FD企画研究委員会

- 5月21日(木) 第1回FD企画研究委員会
- 6月17日(水) 第1回FD企画研究委員会 ミクロチーム会議
- 6月24日(水) 第1回FD企画研究委員会 マクロチーム会議
- 7月22日(水) 第2回FD企画研究委員会 ミクロチーム会議
- 7月29日(水) 第2回FD企画研究委員会 マクロチーム会議
- 9月2日(水) 第3回FD企画研究委員会 ミクロチーム会議
- 10月6日(火) 第3回FD企画研究委員会 マクロチーム会議
- 11月11日(水) 第4回FD企画研究委員会 ミクロチーム会議
- 1月20日(水) 第4回FD企画研究委員会 マクロチーム会議
- 3月8日(火) 第5回FD企画研究委員会 ミクロチーム会議
- 3月23日(水) 第2回FD企画研究委員会

(2) SD事業

③ SD研修委員会

- 5月14日(木) 2015年度第1回SD研修委員会
- 7月9日(木) 2015年度第2回SD研修委員会
- 9月30日(水) 2015年度第3回SD研修委員会
- 12月8日(火) 2015年度第4回SD研修委員会
- 3月17日(木) 2015年度第5回SD研修委員会

(1) 京都学生祭典事業

「第13回(2015年度)京都学生祭典の開催支援」

京都学生祭典は、大学の枠を越えた京都の学生の力を集約し、行政・経済界・大学界・地域社会と連携を図った上で「学生のまち・京都」を社会へ発信し、それに伴う京都全体への波及効果を創出することで京都中の活性化に繋げ、新しい魅力をこのまちに映し出すことを目指している。

京都学生祭典は、加盟校等に所属する学生で構成する京都学生祭典実行委員会が主体的に企画・運営を行うが、財団としても共催団体である京都学生祭典組織委員会として関わり、京都学生祭典の主たる事務局として、京都学生祭典実行委員会の活動支援を行った。

開催日：2015年10月11日(日) 11:00～19:00

開催場所：平安神宮前、岡崎公園一帯

岡崎公園周辺道路(神宮道・二条通 ※交通規制実施)、岡崎グラウンド、岡崎グラウンド園路、岡崎都市公園

主な企画：①Opening ②都市公園企画 ③岡崎グラウンド企画 ④神宮道企画 ⑤Grand Finale

企画目的：本年度は『京都があなたを魅了する』というコンセプトのもと、京都学生祭典実行委員会が中心となり、京都在住の方や京都で働く方、国内外から集まる学生、かつて京都に住んでいた人、観光客等を、大枠で捉えるのではなく、個々の「あなた」たちすべてを対象に、学生と行政・経済界・大学・地域の「オール京都」で創り出す「京都」を通じて魅了させていく。先代が築き上げてきた歴史や縁を大切にしつつも、新たな層・分野へのアプローチも行い、既存の魅力と新たな魅力を発信することで全ての「あなた」へ余すことなく京都の魅力を伝える。そして、京都学生祭典のファンを増やすことで、更なる京都の活性化を目指す。

主催：京都学生祭典実行委員会

共催：京都学生祭典組織委員会

(構成団体) 京都府、京都市、京都商工会議所、一般社団法人京都経済同友会、
公益財団法人 大学コンソーシアム京都

【実績】

4月3日(金)	第5回ワーキンググループ
4月12日(日)	国際交流4月企画“Cherry-blossom viewing”
4月18日(土)	国際交流企画「学生映画上映会」
4月25日(土)	「稟議書策定・経理規程」研修会
4月25日(土)	成長実感調査のための「PROGテスト解説会」
4月28日(火)	第3回事務局会議
5月3日(日)～5日(火)	東北プロジェクト「東北訪問・交流企画」
5月7日(木)	メインビジュアル審査会
5月12日(火)	第2回企画検討拡大常任会議(第6回ワーキンググループ)
5月24日(日)	国際交流5月企画“Let's go to the Noh Festa!!”(@今宮神社)
5月31日(日)	東北プロジェクト成果報告会・防災教室
6月9日(火)	第7回ワーキンググループ
6月13日(土)	「リーダー研修」会
6月20日(土)	国際交流6月企画“Let's make paper lantern!”(@元安寧小)
6月27日(土)	中間振り返り会
7月2日(木)	第4回事務局会議
7月4日(土)	国際交流7月企画“Let's make paper lantern!”(@向島学生センター)
7月5日(日)	プレイベント“Touch the world! Touch the KYOTO!”
7月14日(火)	第3回企画検討拡大常任会議
8月4日(土)	国際交流8月企画“Curry party & Righting show!”(@向島学生センター)
8月6日(木)	打ち水(@伏見竜馬通商店街)
8月8日(土)	打ち水(@安寧地域)・エコサマーフェスタ(@元梅逕中学校)
8月22日(土)	プレイベント「世界への挑戦 in 伏見」(@伏見桃山・中島エリア)
8月24日(月)	打ち水(@三条地域)
8月28日(金)	打ち水(@岡崎地域)
9月10日(木)	成長実感調査のための「PROGテスト解説会②」
9月19日～27日	本祭告知おどり披露(清水寺・府立植物園・伏見稲荷大社 他)
9月27日(日)	本祭成功祈願(@平安神宮)
10月11日(日)	第13回京都学生祭典
10月17日(土)	事後振り返り会
10月20日(火)	学びフォーラム事前研修会(講師:高大連携インターンシップ事業部)
10月25日(日)	学びフォーラム(大学生とえんたくトーク)
10月31日(土)	企業交流会・成果報告会・感謝祭
11月18日(水)	第14回京都学生祭典発足
12月6日(日)	京炎 そでふれ!祭り
3月19日(土)	おどり広報企画(@清水寺)
3月20日(日)	おどり広報企画(@伏見稲荷大社)

第13回実行委員構成人数

構成人数 219名 / 23大学 0大学院 0短期大学 0専修学校 (昨年 182名(うち3名非加盟校))

①大学コンソーシアム京都加盟校 計 218名

加盟校名	本年度	前年度	加盟校名	本年度	前年度
京都大学	3	3	京都聖母女学院短期大学		
京都教育大学		6	京都造形芸術大学		
京都工芸繊維大学	1		京都橘大学	5	3
京都市立芸術大学	1		京都ノートルダム女子大学	1	
京都府立大学	2	5	京都美術工芸大学		
京都府立医科大学	1		京都文教大学		
池坊短期大学			京都文教短期大学		
大谷大学	6	2	京都薬科大学		1
大谷大学短期大学部			種智院大学		1
京都医療科学大学	20	10	成安造形大学		
京都外国語大学	1	1	成美大学		
京都外国語短期大学			成美大学短期大学部		
京都学園大学	5	2	同志社大学	25	19
京都華頂大学			同志社女子大学	8	15
華頂短期大学			花園大学	1	
京都看護大学			佛教大学	1	7
京都経済短期大学			平安女学院大学	12	2
京都光華女子大学	2	2	平安女学院大学短期大学部		
京都光華女子大学短期大学部			明治国際医療大学		
京都嵯峨芸術大学			立命館大学	22	27
京都嵯峨芸術大学短期大学部			龍谷大学	12	10
京都産業大学	8	10	龍谷大学短期大学部		
京都女子大学	80	52	大阪医科大学		
京都精華大学			京都情報大学院大学		
京都西山短期大学			放送大学・京都学習センター	1	1

②非加盟校 1名 (武庫川女子大学)

第13回おどり手構成人数

構成人数 1,021名 / 23大学 2短期大学 0専修学校

① 学コンソーシアム京都加盟校 計 1,019人

加盟校名	本年度	前年度	加盟校名	本年度	前年度
京都大学	76	79	京都聖母女学院短期大学		
京都教育大学	4		京都造形芸術大学	1	
京都工芸繊維大学			京都橘大学	92	115
京都市立芸術大学			京都ノートルダム女子大学	16	32
京都府立大学	31	50	京都美術工芸大学		
京都府立医科大学			京都文教大学	38	17
池坊短期大学			京都文教短期大学	9	11
大谷大学	6	7	京都薬科大学	40	89
大谷大学短期大学部			種智院大学	1	3
京都医療科学大学			成安造形大学		
京都外国語大学	3	1	成美大学		
京都外国語短期大学			成美大学短期大学部		
京都学園大学	1		同志社大学	138	106
京都華頂大学	3	1	同志社女子大学	145	103
華頂短期大学			花園大学	1	2
京都看護大学			佛教大学		
京都経済短期大学			平安女学院大学		
京都光華女子大学	41	56	平安女学院大学短期大学部		
京都光華女子大学短期大学部	1		明治国際医療大学		
京都嵯峨芸術大学			立命館大学	139	82
京都嵯峨芸術大学短期大学部			龍谷大学	29	95
京都産業大学	25	66	龍谷大学短期大学部		
京都女子大学	161	195	大阪医科大学		
京都精華大学	18	19	京都情報大学院大学		
京都西山短期大学			放送大学・京都学習センター		

②非加盟校 計 2人 (関西学院大学・大阪電気通信大学)

第13回短期ボランティアスタッフ

短期ボランティアスタッフ計 305 名

①加盟 計 246 名(21 大学・1 短期大学部)

大学・短期大学名	本年度	前年度	大学・短期大学名	本年度	前年度
京都大学	5	4	京都女子大学	58	56
京都教育大学	2	14	京都造形芸術大学	1	0
京都府立大学	2	0	京都橘大学	2	3
池坊短期大学	2	1	京都ノートルダム女子大学	3	1
大谷大学	4	3	京都薬科大学	1	5
京都華頂大学	1	0	同志社大学	34	34
京都医療科学大学	16	25	同志社女子大学	12	10
京都学園大学	1	3	佛教大学	4	3
京都光華女子大学	1	4	平安女学院大学	7	5
京都嵯峨芸術大学	1	0	立命館大学	50	64
京都産業大学	17	15	龍谷大学	22	18

②非加盟 計 43 名(23 大学 2 短期大学 5 専修学校)

○大阪：18 学校 20 名※()内は人数

関西大学(2) ホスピタリティツーリズム専門学校(2)、梅花女子大学(以下1名)、大和大学、大阪成蹊短期大学、大阪人間科学大学、大阪産業大学、大阪市立大学、大阪芸術大学、大阪教育大学、大阪学院大学、大阪医科大学、近畿大学、関西福祉科学大学、関西大学大学院、関西女子短期大学、関西外国語大学、摂南大学

○兵庫：6 学校 14 名※()内は人数

関西学院大学(5)、神戸松蔭女子学院大学(3)、神戸大学(2)、甲南女子大学(2)、武庫川女子大学(1)、神戸女子大学(1)

○京都：4 学校 5 名※()内は人数

京都歯科医療技術専門学校(2)、京都桂看護専門学校(以下1)、京都中央看護保健大学校、京都府立看護学校

○滋賀：滋賀県立大学(2) ○和歌山：和歌山大学(1) ○奈良：畿央大学(1)

③留学生スタッフ計 16 名(中国 8 名、台湾 5 名、ベトナム 2 名、アメリカ 1 名)

(2) 京都国際学生映画祭事業

京都国際学生映画祭は、上映機会の少ない学生が制作した自主映画を世界各地より集め、上映する機会を学生が創り出すことを通して、学生が成長する機会を創出し続け、人生を変える程の気づきを与えるものである。

京都学生祭典は、加盟校等に所属する学生で構成する京都国際学生映画祭実行委員会が主体的に企画・運営を行うが、財団としても主催団体として関わり、京都国際学生映画祭実行委員会の活動支援を行った。

「第18回京都国際学生映画祭」

- ◆開催日：11月21日（土）～27日（金）
- ◆開催場所：京都シネマ
- ◆募集結果：＜実写部門＞国内127件 海外112件 ＜アニメーション部門＞ 国内33件 海外32件
- ◆各賞決定：
 - 実写部門：「The Bad Old Us」ドイツ/監督：Lily Erlinger /28min/
Filmakademie Baden-Wurttemberg
 - アニメーション部門：「その家の名前」日本/監督：坂上 直/4min/東京芸術大学大学院
 - 最終審査員賞
 - ・沖田修一賞、李鳳宇賞（ダブル受賞）：「ゴロン、バタン、キュー」実写/日本/監督：山元 環
54min/大阪芸術大学
 - ・木下小夜子賞：「Fidelity」実写/ドイツ/監督：Ilker Çatak /24min/Hamburg Media School/
 - 観客賞：「ゴロン、バタン、キュー」実写/日本/監督：山元 環/54min/大阪芸術大学
- ◆主な企画：

	21日（土）	22日（日）	23日（月）	24日（火）	25日（水）	26日（木）	27日（金）
第一部	プログラム A	プログラム B	芳泉文化 財団企画 ②	プログラム D	プログラム A	プログラム D	授賞式
第二部	Worldwide Collection	芳泉文化 財団企画 ①	プログラム C	京都企画	プログラム B	プログラム C	グランプリ 作品上映

- ◆主催：大学コンソーシアム京都
- ◆企画運営：京都国際学生映画祭実行委員会
- ◆運営支援：京都国際学生映画祭企画運営委員会

【実績】

2015年 4月15日(水)	新規実行委員説明会/第18回映画祭審査勉強会
4月18日(土)	映画上映会 in キャンパスプラザ京都開催 祭典実行委員3名・映画祭実行委員4名・留学生2名・財団職員13名
4月21日(火)	新規実行委員説明会/第18回映画祭審査勉強会
4月25日(土)	新規実行委員説明会/第18回映画祭審査勉強会
5月23日(土)	映画上映会 in キャンパスプラザ京都開催 一般来場者1名、財団職員2名
5月30日(土)	東京学生映画祭 作品上映(『Albert』) 観客数:185名 日本学生映画祭 作品上映(開催日程未定)
6月3日(水)	第1回京都国際学生映画祭企画検討委員会
6月25日(木)	映画上映会 in 京都造形芸術大学/来場者数:20名 アンケート回答者数19名/学生18名、一般1名
7月15日(水)	映画上映会 in 京都大学/来場者数:15名 アンケート回答者数12名/学生10名、学校職員2名
7月17日(金)	ビジネスマナー研修
7月18日(土)	シネマニアバトル(主催:立誠シネマ) 実行委員トークショー出演
8月8日(土)、12日(水)、 14日(金)	翻訳ボランティア説明会
8月22日(土)	伏見商店街企画 映画上映会企画
8月下旬	第18回コンペティション 入選作品確定
9月4日(金)	第2回京都国際学生映画祭企画検討委員会
9月20日(日)	本祭司会者オーディション
9月29日(火)	映画上映会 in 立命館大学 来場者数:30名
10月2日(金)	映画上映会 in 同志社大学 来場者数:35名
10月8日(木)	第18回グランプリ作品最終審査会
10月15日(木)	京まちなか音楽映画祭連携 当映画祭作品上映『Before summer rain』 来場者数:41名
10月16日(金)	京都国際映画祭連携企画(当映画祭招待上映) 会場:大江能楽堂 来場者数:38名
10月28日(水)	映画上映会 in Tジョイ京都 来場者数:58名
11月12日(木)	第3回京都国際学生映画祭企画検討委員会
11月15日(日)	日本学生映画祭 in 京都(会場:京都文化博物館) 来場者数:56名
11月21日(土)~27日(金)	第18回京都国際学生映画祭 来場者総数:596名(昨年度512名)
12月18日(金)	第4回京都国際学生映画祭企画検討委員会
12月13日(日)	京都国際学生映画祭×春の高校生フェスティバル in Kyoto 連携企画 高校生31名 教員4名 実行委員6名
2016年2月17日(水)	第5回京都国際学生映画祭企画検討委員会

第 18 回実行委員構成人数（2016.01.16 現在）

構成人数：25 名／12 大学 0 短期大学 0 専修学校（前年同月 24 名：2015 年 1 月 23 日）

①大学コンソーシアム京都加盟校：計 23 名

加盟校名	本年度	前年度	加盟校名	本年度	前年度
京都大学	3	2	京都聖母女学院短期大学		
京都教育大学			京都造形芸術大学	4	4
京都工芸繊維大学			京都橘大学		
京都市立芸術大学			京都ノートルダム女子大学		
京都府立大学			京都美術工芸大学		
京都府立医科大学			京都文教大学		
池坊短期大学			京都文教短期大学		
大谷大学			京都薬科大学	1	2
大谷大学短期大学部			種智院大学		
京都医療科学大学			成安造形大学		
京都外国語大学	1	2	成美大学		
京都外国語短期大学			成美大学短期大学部		
京都学園大学			同志社大学	2	2
京都華頂大学			同志社女子大学	1	
華頂短期大学			花園大学		
京都看護大学			佛教大学	3	2
京都経済短期大学			平安女学院大学		
京都光華女子大学			平安女学院大学短期大学部		
京都光華女子大学短期大学部			明治国際医療大学		
京都嵯峨芸術大学		2	立命館大学	3	3
京都嵯峨芸術大学短期大学部			龍谷大学	2	3
京都産業大学			龍谷大学短期大学部		
京都女子大学	3		大阪医科大学		
京都精華大学			京都情報大学院大学		
京都西山短期大学			放送大学・京都学習センター		

②非加盟校名：2 名 神戸大学（1 名）、奈良大学（1 名）

(3) 障害学生支援事業

専門委員会のもと、各大学の障害学生支援の担当者を集め年2回の定例会議を開き、障害学生支援に関する情報提供・相談の場を設定する。また、「ノートテイク養成講座」を実施し、学生による障害学生支援のスキル習得をサポートした。

なお、障害学生支援担当教職員有志で構成されてきた「関西障害学生支援担当者懇談会」(KSSK)の世話人会と協議を行った結果、2015年度から、本財団はKSSKの主催及び事務局を務めることとなり、上述の担当者会議はKSSKに吸収合併することとなった。

「ノートテイク養成講座」

- ◆日 時：2015年5月24日(日) 15:00~17:45
- ◆会 場：キャンパスプラザ京都 4階第2講義室
- ◆主 催：京都市福祉ボランティアセンター、大学コンソーシアム京都
- ◆協 力：京都市要約筆記サークル かたつむり、NPO法人 ゆに
- ◆参加数：合計33名(学生21名、教職員11名、一般1名)

「第15回関西障害学生支援担当者懇談会」

- ◆日 時：2015年9月1日(火) 13時00分~16時45分
- ◆会 場：キャンパスプラザ2階 第1会議室
- ◆内 容：1. 話題提供「精神障害のある学生の支援について」
2. 分科会「A. 管理職分科会」「B. 実務担当者分科会「支援学生の活用(発達障害のある学生支援等)」」「C. 実務担当者分科会「ガイドラインと実務」
- 3. 情報交換会
- ◆主 催：関西障害学生支援担当者懇談会大学コンソーシアム京都
- ◆参加数：大学・短期大学 30 大学 47名(うち加盟大学14 大学 22名)

「第16回関西障害学生支援担当者懇談会」

- ◆日 時：2016年3月3日(木) 13時00分~16時45分
- ◆会 場：キャンパスプラザ2階 第1会議室
- ◆内 容：1. 話題提供「障害学生支援組織の立ち上げと枠組みづくり」
2. 分科会「A 支援実務入門」「B 支援体制(ガイドライン等)」」「C キャリア支援」
- 3. 情報交換会
- ◆主 催：関西障害学生支援担当者懇談会大学コンソーシアム京都
- ◆参加数：大学・短期大学 30 大学 47名(うち加盟大学14 大学 22名)

各種委員会等の開催について

■開催報告■

(1) 第13回京都学生祭典事業

①事務局会議

- 2014年12月19日(金) 第1回(主要議題: 実行委員紹介、予算案素案、委員会体制、委員委嘱他)
- 2015年1月28日(水) 第2回(主要議題: 決算報告、事業方針、年間予定、予算案、規定制定)
- 4月28日(火) 第3回(主要議題: 業者選定、本祭企画、事業進捗、公募企画)
- 7月2日(木) 第4回(主要議題: 補正予算、全体進捗、14th新規事業 他)
- 8月19日(水) 第5回(主要議題: 伏見企画、本祭企画、補正予算 他)
- 10月30日(金) 第6回(主要議題: 年間事業報告、決算見込み、14th発足 他)

②企画検討委員会 全体会議

- 2015年2月25日(水) 第1回(主要議題: 決算報告、事業方針、予算案、規程制定 デザインコンペ他)
- 8月27日(木) 第2回(主要議題: 伏見企画報告、本祭実施概要、補正予算 他)
- 11月13日(金) 第3回(主要議題: 年間事業報告、決算見込み、14th発足 他)

③企画検討委員会 常任会議

- 2015年2月13日(金) 第1回(主要議題: 決算報告、事業方針、予算案、規定制定 デザインコンペ 他)
- 5月12日(火) 第2回(主要議題: 業者選定、本祭企画、事業進捗、公募企画)
- 7月14日(火) 第3回(主要議題: 補正予算、全体進捗、14th新規事業 他)

④組織委員会

- 2015年3月26日(木) 第1回(主要議題: 決算報告、事業方針、予算案、規定制定他)
- 9月11日(金) 第2回(主要議題: 伏見企画報告、本祭実施概要、補正予算他)
- 11月18日(水) 第3回(主要議題: 年間事業報告、決算見込み、14th発足 他)

(2) 第14回京都学生祭典事業

①事務局会議

- 2015年12月8日(火) 第1回(主要議題: 実行委員紹介、予算案素案、地域活性PJ 他)
- 2016年2月12日(金) 第2回(主要議題: 地域活性PJ 連携先内定)

②企画検討委員会

- 2015年12月22日(火) 第1回(主要議題: 実行委員紹介、予算案素案、地域活性PJ 他)
- 2016年2月24日(水) 第2回(主要議題: 地域活性PJ 連携先内定)

③組織委員会

- 2016年3月23日(水) 第1回(主要議題: 14th組織体制、事業方針、予算案素案、地域活性PJ 他)

(3) 第18回京都国際学生映画祭事業

企画検討委員会

- 2015年6月3日(水) 第1回(主要議題:企画検討委員会委員長任命、コンペ応募状況、一次審査状況、企画案提出 他)
- 9月4日(金) 第2回(主要課題:コンペ募集結果、二次審査状況、最終審査員報告、企画案提出、入選作品報告)
- 11月12日(木) 第3回(主要課題:本祭プログラム枠、グランプリ作品報告、プレ企画報告、広報協力依頼 他)
- 12月18日(金) 第4回(主要課題:本祭開催報告、第19回委員会発足 他)
- 2016年2月17日(水) 第5回(主要課題:第18回事業報告書提出、第19回企画検討委員長就任報告、第19回コンペ募集 他)

(4) 障害学生支援事業

① 障害学生支援企画検討委員会

- 2015年5月12日(火) 第1回(主要議題:企画検討委員会委員長任命、2015年度障害学生支援事業 他)
- 9月17日(木) 第2回(主要課題:関西障害学生支援担当者懇談会(第一回)の状況報告、ノートテイカー養成講座状況報告 他)
- 2016年1月14日(木) 第3回(主要課題:関西障害学生支援担当者懇談会(第二回)の開催 他)

② 関西障害学生支援担当者懇談会の企画運営を行う幹事会

- 2015年6月12日(金) 懇談会(第1回目)に向けた幹事会
- 10月27日(火) 懇談会(第2回目)に向けた幹事会

2015年度 幹事会の構成大学	
大学コンソーシアム京都 加盟校	大学コンソーシアム京都 加盟校以外
京都大学	大阪大学
京都精華大学	神戸松蔭女子学院大学
同志社大学	桃山学院大学
佛教大学	筑波技術大学
大谷大学	

※以上の大学以外で幹事会に加入を希望する大学については、障害学生支援企画検討委員会において承認した上で、幹事校に加えることとする。

③ 2015年5月29日(土) 障害のある学生支援に関する担当者会議

(1) 国際連携事業

<概要>

「第4ステージプラン」では、大学コンソーシアム京都が取り組む国際連携事業として、①留学生と日本人学生の相互交流の促進、②留学生受入れ体制の強化、③学生の海外派遣、④グローバル化に対応した大学教職員の育成を主な柱として掲げている。

①留学生と日本人学生の相互交流促進

②留学生受入れ体制の強化

大学コンソーシアム京都が事務局となり、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等による「留学生スタディ京都ネットワーク」を2015年度設立した。

同ネットワークにおいては、「大学のまち・学生のまち・京都」の海外への情報発信、留学生誘致に取り組んだほか、留学生と日本人学生の相互交流促進や、住宅支援・就職支援等の留学生受入れ強化にも取り組んだ。(事業詳細については、「(2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業」参照)

③学生の海外派遣

2015年度も引続き単位互換を利用した豪州メルボルン(龍谷大)・米国ボストンプログラム(昭和女子大)を実施しつつ、内容のさらなる充実と参加者増に努めた。しかし、定員には満たなかったため、昭和女子大のプログラムについては、継続的に集客が難しい状況から2016年度より中止して見直すこととした。

また、加盟校の学生全体の留学促進を目指し、大使館・諸関係機関と協力し留学説明会・フェアを開催するとともに、留学前準備講座(語学修得)を開催した。

④グローバル化に対応した大学教職員の育成

2013年度より実施した京都の加盟大学教職員向け英語スキルアップ研修について、内容の充実を図り、継続実施した(二期・計6回実施)。過去2年間の参加者のフィードバックを元に、テーマの改編・回数増加を検討し、引き続き教員向けのクラス「Active Learning in the Classroom」を開講し、プレゼンテーションクラスをニーズにより復活させた。

<実績>

4月1日(水)	2015年度 海外留学派遣プログラム開発支援事業 募集開始
4月2日(木)、 4日(土)、7日(火)	2015年度 単位互換 海外短期留学 説明会 (場所: キャンパスプラザ京都) (合計 学生 21名参加)
4月17日(金)	2015年度 海外留学派遣プログラム開発支援事業 募集説明会 (7名参加)
4月24日(金)	龍谷大学国際学部主催 オーストラリアプログラム留学説明会 プレゼンテーション (合計 学生 44名参加)
5月19日(火)	2015年度 単位互換海外短期留学 説明会 (追加登録対象) (3名参加)
6月18日(木)	第1回 単位互換 ポストンサマーセッション オリエンテーション (3名参加)
7月5日(日)	留学フェア in 京都 2015 (438名参加)
7月10日(金)	米国州立大学連合関係者12名との交流会開催 (2校参加)
7月11日(土)	教職員対象英語スキルアップ研修 (Active Learning 1) (7名参加)
7月18日(土)	教職員対象英語スキルアップ研修 (Telephoning and Emails) (18名参加)
7月25日(土)	教職員対象英語スキルアップ研修 (Everyday Communication) (22名参加)
8月17日(月) ~	昭和女子大ポストンサマーセッション プログラム開始 (~9/13) (2名参加)
9月19日(土)	教職員対象英語スキルアップ研修 (Active Learning 2) (6名参加)
9月26日(土)	教職員対象英語スキルアップ研修 (Facilitation) (15名参加)
10月3日(土)	教職員対象英語スキルアップ研修 (Presentation) (14名参加)
10月6日(火)	UK ディベートセミナー (118名参加)
10月14日(水)	第1回 単位互換 メルボルン短期留学 オリエンテーション (18名)
11月8日(日)	ヨーロッパ留学の魅力を紹介するセミナー・交流イベント (73名)
11月12日(木)	第2回 単位互換 メルボルン短期留学 オリエンテーション (16名)
12月3日(木)	TOEFL iBT 概要説明会 (50名参加)
12月16日(水)	第3回 単位互換 メルボルン短期留学 オリエンテーション (16名参加)
12月20日(日)	TOEFL iBT スコアアップセミナー (30名参加)
2月3日(水)	第4回(最終) 単位互換 メルボルン短期留学 オリエンテーション (16名参加)
2月14日(土)~	龍谷大学メルボルン短期留学プログラム (~3/15) (16名参加)
3月9日(水)	世界銀行キャリアセミナー (68名参加)

(2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業

<概要>

京都地域における留学生(外国人研究者を含む。以下同じ)の誘致、受入体制の整備や、留学生の知識・経験を地域の国際化や活性化に活かすための仕組みづくりをオール京都で推進し、「大学のまち・学生のまち」としての京都の魅力向上に図るため、大学コンソーシアム京都が事務局となり、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等による「留学生スタディ京都ネットワーク」を設立した。

2015年度については、「留学生スタディ京都ネットワーク」設立総会での承認を得た下記の事業を実施した。

- 1 オール京都の留学生誘致・支援体制の構築
 - 京都留学にかかわる総合ポータルサイトの設置・運営
 - 留学コーディネータの設置（ワンストップ窓口の運営）
- 2 留学生誘致事業
 - 国内外での留学フェアへのオール京都ブースの出展
 - 海外での京都留学フェアの開催
 - 日本語学校で学ぶ学生のための進学説明会の開催
 - 留学生によるPRチームの設置・運営
- 3 受入環境整備・留学生支援事業
 - 留学生の就業支援に関するワーキングの運営
 - 留学生の住環境整備に関するワーキングの運営
 - 留学生の交流促進支援

<実績>

4月11日（土）	「留学生スタディ京都ネットワーク（仮称）」加入呼びかけ開始
5月29日（金）	「留学生スタディ京都ネットワーク（仮称）」設立総会（73団体加盟）
6月9日（火）	外国人学生のための進学説明会（東京）
7月10日（金）	留学生就業支援ワーキンググループ第1回会議開催
7月18日（土）	留学生PRチーム（中国3名、タイ3名、米国2名）キックオフ
8月6日（木）	留学生住環境支援ワーキンググループ第1回会議開催
9月3日（木）	留学生就業支援ワーキンググループ第2回会議開催
9月11日（金）	留学生住環境支援ワーキンググループ第2回会議開催
9月12日（土）	日本学生支援機構「日本留学フェア」（韓国）（～9/13）
10月24日（土）	「中国国際教育展」（中国・北京）（～10/25）
10月28日（水）	京都留学ポータルサイト「Study Kyoto」開設
10月31日（土）	日本学生支援機構「日本留学フェア」（ベトナム）（～11/1）
11月14日（土）	日本学生支援機構「日本留学フェア」（インドネシア）（～11/15）
11月28日（土）	日本語学校対象 京都の大学への進学説明会（キャンパスプラザ）
12月12日（土）	京都留学フェア（台北）
12月13日（日）	日本学生支援機構「日本留学フェア」（タイ）
12月18日（金）	留学生住環境支援ワーキンググループ第3回会議開催
1月22日（金）	留学生就業支援ワーキンググループ第3回会議開催
3月15日（火）	留学生スタディ京都ネットワーク 第2回運営委員会

(3) 短期留学受入事業

<概要>

「大学のまち・学生のまち・京都」の魅力を伝え、京都の大学への留学につなげるため、2014年度事業として、京都市と協働で大学での講義、文化・交流プログラムなどからなる2週間の短期受入れプログラムの開発を行い、2015年2月から専用ウェブサイト及びパンフレットにより、プログラムの広報及び募集を実施している。

今年度は、夏季（2015年7月26日～8月8日）及び冬季（2016年1月17日～30日）の2回、各25名を定員として、海外学生の受入を行った。

<実績>

2月～	夏季プログラム募集開始
7月26日～	夏季プログラム開始（～8/8） 11名が参加
9月1日～	冬季プログラム募集開始
1月17日	冬季プログラム開始（～1/30） 15名が参加
3月1日～	次年度の夏季プログラム募集開始

(4) 留学生支援事業（京都地域留学生住宅支援制度）

<概要>

「京都地域留学生住宅支援制度」については、当財団がその事務局を担い、総会開催、会員証発行、包括契約書締結、機関保証事務、事故対応等の業務（通年）を行う。なお、「京都地域留学生住宅保証制度」は、過年度からの継続案件の残務を整理し、2015年度中の事業終了し支援制度に一本化した。

(5) 海外留学派遣プログラム開発支援事業

<概要>

2013年度より開始した「海外留学派遣プログラム開発支援事業」を3年目として継続実施した。当事業は京都市との協働でグローバル化が進行する相互依存社会の中で、国際的な視野を持ち京都市域の活性化に貢献できる人材の育成および学生の海外留学促進を目的に、大学コンソーシアム京都加盟大学・大学院・短期大学が実施する優れた海外留学派遣プログラムに対して、その開発に要する経費（実費相当額）について、30万円を上限として支援するものである。

2016年度は、京都市において「京（みやこ）グローバル大学」促進事業～大学の国際化を応援～が開始するため本財団の事業としては、支援を終了する。ただし、2015年度に開発を支援したプログラム実施報告書（提言レポート）の内容を評価する。

<実績>

4月17日（金）	海外留学派遣プログラム開発支援事業説明会（申込み期間 4/1～7/4）
7月17日（金）	第1回 海外留学派遣プログラム開発支援事業 運営委員会（書面開催） ・11件申込みがあった申請のうち、10件を採択した。
1月22日（金）	第2回 海外留学派遣プログラム開発支援事業 運営委員会
3月25日（金）	第2回 講演会・成果報告会（海外留学派遣プログラム開発支援事業）

(6) 留学生就職支援・交流コミュニティ運営事業

<概要>

文部科学省が2015年度から実施する「住環境・就職支援等留学生の受入れ環境充実事業」の採択を受け、大企業志向の強い留学生の就職にかかる選択肢拡大を図るとともに、地元企業の国際化を支援する観点から、留学生に「京都を学び、地元産業を深く理解し、地元企業を志向する」プロセスを提供する就職支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy」を立ち上げることにより、留学生の地元への就職を支援し、定着を促進するモデルを構築することにより、留学生が多様な就職機会に出会える環境を整える。

また、留学生の採用に当たっては、多くの企業が留学生に高い日本語能力を求めており、日本語がネックとなって就職活動に困難を感じる留学生が多い実情から、上記の地元企業への就職を志向する仕組みと併せて、日本語学校との連携により、就職活動に必要な日本語支援を行うプログラム開発に取り組み、留学生の就職活動の円滑化を支援する。

さらに、上記コミュニティ参加者をはじめ、京都で学ぶ現役留学生による「留学生 PR チーム」の運営により、学生の目線に立った海外向け情報発信に取り組むなど、留学生誘致・支援に関する幅広い取組を展開する。

<実績>

11月5日(木)	広報発表、留学生募集開始
11月21日(土)	第1回オリエンテーション 9名参加
11月27日(金)	第2回オリエンテーション 23名参加
12月13日(日)	文化体験①(妙心寺春光院での座禅体験) 19名参加
12月16日(水)	企業とのワークショップ①(都タクシーとの外国人向け京都穴場ツアー開発) 6名参加
1月16日(土)	文化体験②(外国人向け京都穴場ツアーでの京都体験) 21名参加
1月22日(金)	就職セミナー① 12名参加
1月29日(金)	企業とのワークショップ② 8名参加
2月18日(木)	プレゼンテーション大会・交流会 47名参加
2月~3月	就職活動に必要な日本語講座(全4回) 13名参加
3月24日(木)	就職セミナー② 7名参加

各種委員会等の開催について

■開催報告■

(1) 国際連携事業

① 国際事業部運営委員会

7月29日(水) 第1回会議開催

2月4日(木) 第2回会議開催

(2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業

① 留学生スタディ京都ネットワーク運営委員会

11月26日(木) 第1回運営委員会

3月15日(火) 第2回運営委員会

(3) 短期留学受入事業

① 短期留学受入プログラム運営委員会

6月16日(火) 第1回会議開催

3月29日(火) 第2回会議開催(書面開催)

(4) 留学生支援事業(京都地域留学生住宅支援制度)

① 京都地域留学生住宅支援制度運営委員会

12月3日(木) 第1回会議

(5) 海外留学派遣プログラム開発支援事業

① 海外留学派遣プログラム開発支援事業運営委員会

7月17日(金) 第1回会議(台風接近に伴う悪天候のため書面開催)

1月22日(金) 第2回会議開催

(1) 調査企画事業

<概要>

第4ステージプラン（2014～2018年度）では、加盟校や会員となっている自治体・経済団体ほか京都地域のステークホルダーの理解や協力のもと、財団として今後進めるべき事業を、調査・研究に基づいて適切に説明し、その実施後の効果についても広く公開することの必要性が提案された。また、加盟校からも、現行プログラムの見直しと新たな事業展開の判断材料の両面において、その調査機能の強化を求める声が多く寄せられた。

これを受け、調査企画事業では事業の効果や成果を明らかにし、今後の事業開発に向けた知見を得ることを目的に、専門家による調査研究を委託する財団指定調査課題事業を2015年度から開始し、2015年度は3件の財団指定調査課題に対する調査研究を実施した。また、2015年度には指定課題の進捗確認と次年度以降の調査課題の検討を行う新たな専門委員会「調査事業企画検討委員会」を設置し、今後の財団の調査・企画機能の充実と安定化を図る。

また、2015年度は同委員会において、財団事業の客観的評価を行うため必要となるデータ項目を検討し、「共通指標」として設定。2016年度から原則、全事業で「共通指標」に基づくデータ収集を開始することとし、事業横断的な評価を可能とし、また、財団運営のあり方を検討する際に必要となる基礎データの収集に向けた整備を行った。

<実績>

① 「共通指標」の設定

従来から各事業別に参加者数等のデータ収集、分析等を行い、専門委員会等へフィードバックするとともに、主要事業については、財団基礎調査として財団としてデータの蓄積を行ってきたが、収集データ項目、方法にばらつきがあり、客観的、事業横断的評価には適さなかった。

客観的なデータの収集は、今後の事業展開に不可欠なものであるため、財団として収集すべき基礎データ項目を調査事業企画検討委員会で検討し、「共通指標」として設定、2016年度から原則、全事業でデータ収集に取り入れることとした。

② 財団指定調査課題

2015年度は以下3件を財団指定調査課題に設定し、調査事業企画検討委員会で進捗マネジメントと2016年度の課題設定を行った。

*2015年度財団指定調査課題（3件）

- ①外国人留学生の日本および京都地域における就業阻害要因に関する調査
- ②インターンシップ修了生に関するアンケート調査
- ③京都学生祭典実行委員の活動を通じた成長実感調査

～インターカレッジ活動の効果検証と更なる事業改善に向けて～

2015年11月26日（木）中間報告会

2016年3月15日（火）成果報告会

*2016年度財団指定調査課題（1件）

「大学の障害学生支援に対する大学連携組織である大学コンソーシアム京都の果たすべき役割についての調査研究」を調査テーマとして研究者の公募を行い、選考の上、以下の調査研究を決定した。

- ・大学での障害者差別解消へ向けたアクセシビリティと合理的配慮の DB の構築 障害学生支援室連携組織の設立へ向けて

③ 大学のまち・学生のまち京都推進会議

引き続き、京都市と連携した大学のまち大学のまち京都・学生のまち京都推進会議事務局を担当。6月と3月に会議を開催し、京都市及び財団事業等に対する意見交換を行った。

④ 加盟校への財団実績等のフィードバック・ヒアリング

「共通指標」の件等に併せ、加盟大学に対し、主要事業に関するアンケートを行うとともに、実績について情報提供を行った。

⑤ 大学生の就職等に関する意識調査

京都市からの業務委託による大学生の就職等に関する意識調査の実施

⑥ 教育 IR フォーラム

(株)リアセックと共催による「教育 IR フォーラム」を実施した。

2015年7月25日(土) 190名参加

(2) 広報事業・共同広報事業

<概要>

【広報事業】

第4ステージプランの策定にあたっての加盟校アンケート・ヒアリングで、財団事業の認知が不十分であることが明らかになった。広報事業では、①財団の取組みの認知度を上げることを目標に2014年7月にリニューアルしたウェブサイトとSNS(財団 facebook)等を併用した発信機能強化、②京都市との共同事業「大学のまち京都学生のまち京都推進計画」を踏まえて策定された「京都学生広報部」の円滑な立ち上げと活動開始の2つを柱とし、具体的には以下の取組みを行った。

<実績>

① Web サイト・SNS の運用

Web サイトおよび SNS コンテンツ(財団 facebook)の充実による発信機能の強化とアクセス数増加の追求を図った。

② 京都学生広報部の創設

全国の中高生を主な対象に「大学のまち・学生のまち京都」の魅力を発信するため、京都学生広報部を2015年6月に創設。9月には新サイト「コトカレ」を開設し、大学生視点を取り入れた大学のまち京都の魅力発信に取り組んだ。

*コトカレ・SNS の実績

2015年度	コトカレ (月間ユーザー)	コトカレ (月間 PV 数)	Facebook (累計いいね数)	Twitter (累計フォロー数)	Instagram (累計フォロー数)
10月	1,850	17,404	844	358	46
11月	2,074	9,942	896	478	77
12月	2,431	12,495	958	513	80
1月	2,163	11,801	980	648	114

2月	3,292	13,377	1,059	720	123
10～3月	13,667	75,210	1,059	720	123

③ 広報冊子の作成、発行

財団の概要を紹介する「information」のリニューアル、また、1月には会報を発行し、加盟大学等へ財団や加盟大学の取組の情報発信を行った。

<概要>

【共同広報事業】

上述の学生広報部設立と活動開始は、地域全体で京都の大学への入学を促進する「共同広報」の取り組みにとっても極めて重要な意味を持つ。これに加えて、京都で学ぶことの魅力・優位性を十分に発信することで、財団事業を支える構成員である加盟校等の財団に対する求心力を改めて高めていくことをめざし、引き続き、以下の共同広報事業を進めた。

<実績>

① 京都の大学 学びスタイル 2015

共同広報冊子「京都の大学 学びスタイル 2015」の編集・発行した。なお、本冊子の主な配布先であった京都の大学「学び」フォーラムが2015年度をもち終了するため、2016年度以降は廃止し、冊子に掲載していた一部情報をHPに引き継ぐ予定である。

② 京都 B&S プログラム

京都市・民間事業者と協力した修学旅行における高校生・大学生共同企画「京都B&Sプログラム」を2014年度から実施、引き続き、広報協力と効果分析を行った。

(3) 都市政策研究推進事業・学まちコラボ事業

<概要>

本財団では、かねてより、京都のまちの魅力を上向きさせることを目的に、加盟校が持つ知恵と人材を生かして地域の発展や活性化に寄与する研究や事業を推進してきた。都市政策関連事業は、財団中期計画「第4ステージプラン」で示された「京都のまちの魅力向上に資する地域の発展・活性化をめざした研究や調査、また京都地域をフィールドとした活動支援」を引き続き実施し、具体的には以下の主要事業に取り組んだ。

<実績>

① 京都から発信する政策研究交流大会

本大会は、キャンパスプラザ京都を拠点に学生・大学院生に政策研究の成果発信の場を提供し、日頃の活動の成果の発表を通じて交流を深め、都市政策に活かすことを目的としている。また、同時に開催している学生による企画は、「若者の政治参加を考える」をテーマとし、京都市会との協働により、京都市議員と学生とのディスカッションを行った。

2015年10月24日 事前説明会 (80名参加)

2015年12月6日 第11回京都から発信する政策研究交流大会 (451名参加)

※2015 年度大会特別テーマ：「芸術文化と都市・社会」「高齢化と都市・社会」

発表 79 件（口頭発表 65 件・パネル発表 14 件／個人 14 件・団体 65 件）

	口頭発表		パネル発表		発表計
	学部	大学院	学部	大学院	
京都大学		1			1
京都府立大学	2		5		7
京都産業大学	9		1		10
京都女子大学	1				1
京都橘大学	4	1			5
京都文教大学	2				2
成美大学	1				1
同志社大学	5		3		8
佛教大学	9		1		10
立命館大学	17	4	3		24
龍谷大学	9				9
聖泉大学			1		1
計（発表別）	59	6	14	0	79
	65		14		

② 学まちコラボ事業

京都市と連携し、大学の求める人材育成に資する実践的教育・研究機会の確保と、地域ニーズに基づいた大学の知や学生の活力を生かした課題解決や地域活性化を目的として、大学と地域との連携による取組みに対して助成金を交付する「大学地域連携創造・支援事業（愛称：学まちコラボ事業）」について、2015 年度も引き続き、実施した。

*2015 年度活動団体募集（4/1～5/15） 応募件数 18 件

*第 1 次審査実施（6/10）

【申請件数】18 件（26 年度 27 件、25 年度 33 件、24 年度 13 件）⇒【通過件数】18 件

*公開プレゼンテーション（第 2 次審査）（6/28）

【採択件数】14 件（26 年度 16 件、25 年度 17 件、24 年度 8 件）

*学まちコラボ認定事業報告会（3/27）（参加者 110 名）

採択団体による成果報告を行い、優秀団体（1 団体）を表彰

③ 大学・学生と地域による京都のまちづくり事例集

2015 年度より京都市からの指定管理業務の一部として、大学・学生による地域活動事例等を紹介するウェブサイト（大学・学生と地域による京都のまちづくり事例集）を引き継いだことに伴い、当財団でその内容の更新を行った。*加盟大学への事例ヒアリング調査（12/23～1/20）

④ 世界歴史都市会議ユースフォーラム

2016 年 6 月に開催される第 15 回世界歴史都市会議ユースフォーラム（オーストラリア パート・イシュル

市)に京都市代表として参加する学生グループの募集・審査を行った(都市政策研究推進委員会が担当)。

*参加者募集(12/4-1/25、応募者2名)

*2次審査(3/16)参加学生(1名)決定

(4) 未来の京都創造研究事業(シンクタンク事業)

<概要>

本事業は、大学研究の知を調査・研究を通して地域社会へ還元する取り組みを当財団と京都市が「未来の京都創造研究事業」として2011年度に共同で開始した。その目的は2つあり、一つは当財団が持つ大学や研究者との豊かなネットワークを生かして、未来の京都づくりに向けた政策や事業を創造するための調査・研究を行うこと、もう一つは、最先端の研究に取り組む意欲ある若手研究者等の発掘・育成とネットワーク形成を目指すことである。また、本事業における調査・研究の最大の特徴は、一般的な委託研究ではなく、研究者と京都市の職員が共同して調査・研究を進めることで市の実際の政策や事業に繋げやすい点である。また、これら研究に併せ、市が毎年実施している「市民生活実感調査」の結果を分析している。2015年度は、事業発足から5年目の最終年度であり、このため、3月に開催した成果報告会では今年度の研究進捗だけでなく、5年間の実績の報告も行った。

<実績>

① 研究助成事業

*2015年度指定課題

- ①障がい者雇用を実現する持続可能な「食の経営」についての研究
- ②自転車の走行環境整備における知覚心理学の活用についての研究
- ③地域連携活動への参加が学生の意識に与える影響の分析に基づく効果的な大学・地域連携科目及び事業の開発に向けた研究

*募集締切(5/22)

【申請数】指定課題①:2件、指定課題②:1件、指定課題③:4件、自由課題:7件

*採択研究決定(6/12 第2回事業運営委員会)

指定課題①:「障がい者雇用を実現する持続可能な「食の経営」についての研究 指定課題②:「自転車の走行環境整備における知覚心理学の活用についての研究」

指定課題③:「地域連携活動への参加が学生の意識に与える影響の分析に基づく効果的な大学・地域連携科目及び事業の開発に向けた研究」

自由課題:「京町家における居住文化に対応した断熱改修手法に関する研究」

自由課題:「京都市におけるまちの居場所運営の継続要因及び終了要因の抽出」

*中間報告会(10/30開催)

*成果報告会(3/22開催)

*研究だより(全4号)発刊

② 市民生活実感調査

*平成26年度「市民生活実感調査」に係る分析結果報告書 製本完了(関係機関送付済み)

*平成27年度「市民生活実感調査」に係る第1回分析方針検討会議(8/4)

*平成27年度「市民生活実感調査」に係る第2回分析方針検討会議(12/11)

各種委員会等の開催について

■開催報告■

(1) 調査企画事業

① 調査事業企画検討委員会

- 6月25日(木) 第1回(主要議題:2016年度財団指定調査課題テーマの検討)
7月29日(水) 第2回(主要議題:財団事業の客観的評価に当てる共通指標の検討)
9月25日(金) 第3回(主要議題:共通指標の検討、加盟校アンケートの検討)
10月27日(火) 第4回(主要議題:2016年度指定調査課題テーマ検討ほか)
11月26日(木) 第5回(主要議題:2015年度指定調査課題中間報告、2015年度テーマ検討)
12月16日(水) 第6回(主要議題:共通指標の検討)
1月21日(木) 第7回(主要議題:共通指標の検討)
2月16日(火) 第8回(主要議題:(2016年度財団指定調査課題プレゼンテーション審査)
3月15日(水) 第9回(主要議題:2015年度指定調査課題成果報告会)

② 大学のまち京都学生のまち京都推進会議

- 7月14日(火) 第1回大学のまち京都・学生のまち京都推進会議
3月4日(金) 第2回大学のまち京都・学生のまち京都推進会議

③ 学生の活動支援専門部会

- 6月27日(土) 第1回学生の活動支援専門部会

(2) 都市政策事業・学まちコラボ事業

① 都市政策研究推進委員会

- 4月17日(金) 第1回委員会
7月3日(金) 第2回委員会
9月11日(金) 第3回委員会
11月27日(金) 第4回委員会
2月19日(金) 第5回委員会

② 学まちコラボ事業(大学地域連携創造・支援事業)選考委員会

- 6月10日(水) 第1回(主要議題:1次選考委員会)
6月28日(日) 第2回(主要議題:2次選考委員会)
11月4日(水) 第3回(主要議題:次年度の課題整理)
2月9日(火) 第4回(主要議題:報告会の実施、次年度の事業募集・採択審査について)

(3) 未来の京都創造研究事業(シンクタンク事業)

① 未来の京都創造研究事業運営委員会

- 4月14日(火) 第1回委員会

6月12日(金) 第2回委員会
10月30日(金) 第3回委員会 中間報告会

総務部

(1) 総務業務（法人運営・庶務）

<概要>

(1) 機関会議

法人の意志決定を行うため、運営委員会、理事会、評議員会を行い、会員団体への事業報告等の場として会員総会を開催。（日程、主な議題等については「各種委員会等の開催について」参照）

(2) 大学のまち・京都サマーミーティング

大学コンソーシアム京都の事業推進や京都市の大学政策の参考とするとともに、京都の大学と京都市の一層の連携を図ることを目的とし、加盟大学学長と京都市長との懇談会「大学のまち・京都サマーミーティング 2015」を開催した。今後、年1回程度、定期的に開催する。

◆大学のまち・京都サマーミーティング 2015（概要）

日 時：2015年8月22日（土）10:00～12:00

会 場：キャンパスプラザ京都 2階 第1会議室

出席者：・大学コンソーシアム京都理事長、専務理事

・京都市長、副市長、総合企画局長

・大学コンソーシアム京都の理事会、評議員会及び運営委員会を構成する大学・短期大学の学長又は副学長

次第概要：赤松理事長、京都市長による開会あいさつ

各大学における「地域連携の取組」について紹介の後、意見交換

(2) 財務・経理業務

<概要>

財団の予算執行管理及び財産管理等を統括。2015年度の主要な業務進捗状況は下記の通り。

【実施スケジュール】

- | | |
|-----------|--|
| 6月2日（火） | 2014年度決算監査 |
| 6月4日（木） | 2014年度決算理事会承認（書面会議） |
| 6月20日（土） | 2014年度決算確定（評議員会）、決算報告（会員総会）、内閣府報告 |
| 11月11日（水） | 2016（平成28）年度事業計画策定及び予算編成の基本方針審議（運営委員会） |
| 1月5日（火） | 資金運用管理委員会 |
| 1月23日（土） | 2015年度補正予算 理事会承認 |
| 3月26日（土） | 2016（平成28）年度事業計画、アクションプラン及び収支予算書理事会承認 |

(3) 研修業務

<概要>

財団職員の力量向上を目指した研究企画の策定・実施を目的とする。2014年度より事業部横断チームを編成し、財団や各事業における理解、連携を深めることに重きを置いた研修を実施しているが、本年度も同様にチームを編成し職員に必要とされる研修を企画、運営した。

【実施スケジュール】

4月1日(水)	オリエンテーション
4月20日(月)	総合消防訓練①
5月1日(金)	オリエンテーション(5月1日付着任者向け)
8月26日(水)～28日(金)	SPODフォーラム2015
8月28日(金)	ハラスメント研修
10月16日(金)	財団研修企画検討ワーキング
11月3日(火)	オリエンテーション(11月1日付着任者向け)
11月4日(水)	オリエンテーション(11月1日付着任者向け)
11月17日(火)	キャリア形成支援研修
12月1日(火)	オリエンテーション(12月1日付着任者向け)
12月16日(水)	冬期事務局研修
12月19日(土)	総合消防訓練②、救急講習
12月23日(水)	財団研修企画検討ワーキング

(4) 全国大学コンソーシアム協議会事業

<概要>

本事業では、全国の大学コンソーシアム組織(大学連合体・大学連携組織)からなる協議会組織「全国大学コンソーシアム協議会」の事務局として、運営委員会・総会の開催、協議会予算の執行管理等を行っている。情報交換・交流の場として「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」を開催している。

◆第12回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム(概要)

テーマ:(全体テーマ)大学に求められる役割と大学コンソーシアムの新たな展開

(副題)コミュニティ形成と地方創生時代における大学コンソーシアム

会場:金沢工業大学扇が丘キャンパス(石川県野々市市)

◇基調講演、シンポジウム:2015年9月12日(土)13:00～18:00

参加者数:300名

基調講演:増田 寛也 氏(東京大学公共政策大学院 客員教授)

「地方創生と大学の果たす役割」

シンポジウム:

【シンポジスト】 山野 之義 氏(金沢市 市長)

今井 光規 氏(摂南大学 学長)

富野暉一郎 氏(一般社団法人 京都府北部地域・大学連携機構 代表理事)

林 勇二郎 氏(北陸先端科学技術大学院大学 監事)

【コーディネーター】 柴田 正良 氏(金沢大学 理事(教育担当) 副学長)

◇情報交換会:2015年9月12日(土)18:15～20:00

◇分科会：2015年9月13日（日） 9:30～11:30

	分科会テーマ	参加者数
1	地域創成における大学コンソーシアムの可能性を考えるワークショップ (一般社団法人 大学コンソーシアム熊本)	24
2	大学における「奨学生」の現状と将来の方向性について (公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩)	16
3	教育委員会と大学コンソーシアムとの連携 (一般社団法人 教育ネットワーク中国)	22
4	地域における発達障害のある幼児への支援力向上のための佐賀県5大学・短期大学の連携と取組み (大学コンソーシアム佐賀)	9
5	自治体や地域と連携した留学生受入れ環境整備にむけて (公益財団法人 大学コンソーシアム京都)	29
6	地域活性や地域サービスの担い手となる人材の育成 (特定非営利活動法人 南大阪地域大学コンソーシアム)	37

(5) 勤労学生援助会・表彰奨学金事業

<概要>

本事業では、「勤労学生援助会」の事務局として、理事会等の開催・予算の執行管理等を行っている。「勤労学生援助会」では、人物・学業とも他の学生の模範となる学生で、学費や生活費をアルバイト及び奨学金等に頼り、家庭からの援助が皆無に近い学生や、京都地域の社会活動で著しく貢献した学生を表彰し、奨学金を給付している。

【実施スケジュール】

- 5月8日（金） 運用資金による債券購入
- 8月26日（水） 通常総会・理事会
- 9月1日（火） 奨学生の推薦受付（～12月11日）
- 2月2日（火） 表彰学生選考委員会
- 3月4日（金） 勤労学生表彰・奨学金贈呈式

各種委員会等の開催について

■開催報告■

(1) 総務業務(法人運営)

①評議員会

- 6月20日（土） 第1回（主要議題：2014(平成26)年度事業報告及び決算について 他)
- 3月26日（土） 第2回（主要議題：定款の改正 他)
- 3月27日（日） 第3回（主要議題：理事の選任について 他）※書面会議

②理事会

- 6月4日（木） 第1回（主要議題：2014(平成26)年度事業報告及び決算について 他)
- 6月20日（土） 第2回（主要議題：運営委員の辞任・選任について 他)

- 11月21日(土) 第3回(主要議題:理事長、専務理事職務執行報告)
- 1月23日(土) 第4回(主要議題:2015(平成27)年度補正予算について 他)
- 3月10日(木) 第5回(主要議題:第2回、第3回評議員会の開催について 他)※書面会議
- 3月26日(土) 第6回(主要議題:2015(平成27)年度事業計画及び予算について 他)
- 3月30日(月) 第7回(主要議題:専務理事の選任について 他)※書面会議

④運営委員会

- 4月8日(水) 第1回(主要議題:運営委員の辞任について 他)
- 5月13日(水) 第2回(主要議題:2014(平成26)年度事業報告及び決算について 他)
- 6月10日(水) 第3回(主要議題:運営員の選任について、第2回理事会開催について 他)
- 7月8日(水) 第4回(主要議題:共催依頼について)
- 9月9日(水) 第5回(書面会議※)(主要議題:共催依頼について) ※台風接近のため書面にて実施
- 10月14日(水) 第6回(主要議題:調査事業企画検討委員会「加盟校調査」の実施について)
- 11月11日(水) 第7回(主要議題:2016(平成28)年度事業計画策定及び予算編成の基本方針について 他)
- 12月9日(水) 第8回(主要議題:共催名義使用について)
- 1月13日(水) 第9回(主要議題:2015(平成27)年度補正予算について 他)
- 2月10日(水) 第10回(主要議題:2016年度機関会議等開催日程について 他)
- 3月9日(水) 第11回(主要議題:2016(平成28)年度事業計画・予算について 他)

(2) 全国大学コンソーシアム協議会事業

①全国大学コンソーシアム協議会 運営委員会

- 5月23日(土) 第1回(主要議題:決算・予算・事業計画等)
- 9月13日(日) 第2回(主要議題:第12回フォーラム結果・第13回進捗)
- 2月20日(土) 第3回(主要議題:第13回フォーラム(広島)について 他)

②全国大学コンソーシアム協議会 幹事会

- 7月24日(金) 第1回[書面会議](主要議題:2014(平成26)年度 全国大学コンソーシアム協議会決算について 他)
- 8月25日(火) 第2回[書面会議](主要議題:規程改正について 他)
- 2月25日(木) 第3回[書面会議](主要議題:代表幹事の選任について 他)

(3) 勤労学生援助会・表彰奨学金事業

①勤労学生援助会理事会・選考委員会

- 4月14日(火) 第1回 理事会(主要議題:勤労学生援助金の債権の購入について)※書面
- 8月26日(水) 第2回 総会・理事会(主要議題:事業・決算報告 他)
- 2月2日(火) 表彰学生選考委員会(主要議題:表彰・奨学金授与学生の選考、他)

附属明細書

事業における重要な事項は平成27年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無いため、当年度の附属明細書は作成しない。